令和元年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間６０分

受験番号		氏　名	

衛生法規に関する知識

問１　クリーニング業法第２条の条文について、（　）に入る語句を語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、（　１　）又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は（　２　）を原型のまま洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。）を営業とすることをいう。

この法律で「クリーニング師」とは、第６条に規定する（　３　）を受けた者をいう。

この法律で「クリーニング所」とは、洗たく物の処理又は（　４　）のための営業者の施設をいう。

ア．漂白剤	イ．溶剤	ウ．洗浄液
エ．依頼品	オ．生活用品	カ．皮革製品
キ．許可	ク．免許	ケ．承認
コ．受取及び引渡し	サ．受取及び分別	シ．回収及び引渡し

問２　クリーニング業法第３条に規定する営業者の衛生措置等について述べたものですが、誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておかなければならない。
２　洗場については、床が浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていること。
３　伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物を取り扱う場合において、洗濯が消毒の効果を有する方法によってなされる場合は、洗濯前に消毒しなくてもよい。

問３　クリーニング業法施行規則第１条に規定する消毒を要する洗たく物として、誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、当該洗濯物は営業者に引き渡される前に消毒されていないものとします。

１　伝染性の疾病にかかっている者が使用した物として引き渡されたもの
２　病院又は診療所において療養のために使用された寝具その他これに類するもの
３　おむつ、作業着その他これらに類するもの

問４　クリーニング師免許証について述べたものですが、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、１０日以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
２　クリーニング業法第１２条の規定により免許の取消処分を受けた者は、１０日以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
３　クリーニング師は、免許証を免許を与えた都道府県知事に返納することによって登録の抹消を申請することができる。

問５　クリーニング業法第５条に規定する営業者の届出について、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング所を廃止するときは、あらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
２　クリーニング所を開設する際に届け出た事項に変更が生じたときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
３　クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、都道府県知事への届け出を必要としない。

問６　クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習について述べたものですが、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後１年以内にクリーニング師の研修を受けるものとする。
２　営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、クリーニング師の研修を実施しなければならない。
３　営業者は、クリーニング所の開設の日又は無店舗取次店の営業開始の日から１年以内に、その従事者の中からその従事者の数に10分の1を乗じて得た数の者を選び、その者に業務従事者に対する講習を受けさせるものとする。
４　クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習は、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従って指定するものである。

問７　国からの通知である「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている指定洗濯物の一般的な消毒方法に関する記述で、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　遊離塩素２５０ｐｐｍ以上の水溶液中に３０℃以上で５分間以上浸す。
２　５０℃以上の熱湯に１０分間以上浸す。
３　蒸気がま等を使用し、９０℃以上の湿熱に１０分間以上触れさせる。

※指定洗濯物：クリーニング業法施行規則第１条に規定する消毒を要する洗たく物

問８　標準営業約款制度（Ｓマーク制度）に関する記述で、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　標準営業約款制度（Ｓマーク制度）のＳはSafety（安全）、Sanitation（清潔）、Stable（安定）の頭文字をとったものである。
２　公益財団法人全国生活衛生営業指導センターが、各都道府県知事の認可を受けて標準営業約款を定めており、現在、クリーニング業のみに設定されている。
３　生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づき、利用者や消費者の選択の利便を図るための制度である。

公衆衛生に関する知識

問１　次の記述は、日本国憲法第２５条の条文である。（　　）に入る語句を下の枠内の語群から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

すべて国民は、健康で（　１　）な最低（　２　）の生活を営む権利を有する。
国は、すべての生活部面について、社会福祉、（　３　）及び（　４　）の向上及び（　５　）に務めなければならない。

ア．衛生的	イ．文化的	ウ．保障
エ．限度	オ．公共福祉	カ．児童福祉
キ．社会保障	ク．環境衛生	ケ．公衆衛生
コ．精神衛生	サ．維持	シ．増進

問２　次の記述は地域保健法において定めている保健所の業務である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　水道、下水道、廃棄物処理その他環境衛生に関する事項
２　母性及び乳幼児の保健に関する事項
３　消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項
４　地域保健に関する思想の普及及び向上に関する事項

問３　次の記述は感染症の感染経路に関する組み合わせである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　結核　　－　飛沫核感染（空気感染）
２　日本脳炎　－　ダニを媒介とした感染
３　破傷風　　－　土壌を介した感染
４　麻疹　　－　接触感染

問４　次の皮膚疾患について、疾患名と原因について、正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　疥癬　　－　ダニ
２　白癬疹　－　黄色ブドウ球菌
３　膿痂疹　－　真菌

問５　次の記述は、ノロウイルスによる感染症に関する記述である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　発生数は、冬期間に多い。
２　消毒にはアルコールが有効である。
３　感染から発症までは２４～４８時間である。
４　汚染された衣類等は、８５℃で１分間以上の熱水洗濯が有効である。

問６　次の記述は、インフルエンザに関する記述である。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　室内の湿度は低い方が、インフルエンザにかかりにくい。
２　予防接種をすると、インフルエンザウイルスの感染を完全に防げる。
３　インフルエンザの予防接種は、予防接種法による定期の予防接種の対象になっていない。
４　咳やくしゃみの際にマスクなどを使用することを、「咳エチケット」という。

問７　次の記述は、たばこに関するものである。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　加熱式たばこは特別な処理をしているので、体への影響はない。
２　妊娠中の喫煙は、胎児の成長を制限したり、低出生体重児の発生が高くなる。
３　夫がたばこを吸っていても、たばこを吸わない妻の肺がんのかかりやすさには、影響はない。
４　たばこには、依存の原因となる物質は含まれていない。

問８　次の記述は、食中毒予防に関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　温かい食品を冷蔵する場合、小分けしてから冷蔵する。
２　冷蔵庫に食品を入れるのは、７割程度までの容量とする。
３　肉を焼くときは、肉の中心部分の温度が５０℃で１分間以上加熱する。
４　手洗いは、調理前、調理中、食事前などこまめに行う。

問９　次の記述は労働衛生に関するものである。正しいものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　労働安全衛生法の目的は、職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することである。
２　健康診断は、事業主が労働者に対して厚生労働省令に定めるところにより実施するのものであるが、受診するかどうかは労働者の判断でよい。
３　事業者は、受動喫煙を防止するための対策をとる必要はない。
４　事業者は、すべての事業場で産業医を選定しなければならない。

洗たく物の処理に関する知識

問１　繊維製品の取扱い表示（JIS L 0001）とその意味の記述について、<u>正しいものを１つ選び</u>、その番号を解答欄に記入しなさい。

A

１　時間は３０分を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。
２　液温は３０℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。
３　水量は３０Ｌを限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。

B

１　漂白処理はできない。
２　塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
３　酸素系漂白剤による漂白処理ができるが塩素系漂白剤による漂白処理はできない。

C

１　タンブル乾燥処理ができる。ただし、排気温度の上限は60℃とする。
２　タンブル乾燥処理ができる。ただし、排気温度の上限は80℃とする。
３　日陰で吊り干し乾燥ができる。

D

１　底面温度１１０℃を限度としスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
２　底面温度２００℃を限度としアイロン仕上げ処理ができる。
３　底面温度１５０℃を限度としアイロン仕上げ処理ができる。

E

１　石油系溶剤での通常のドライクリーニング処理ができる。
２　ドライクリーニング処理ができない。
３　家庭用洗濯機のドライコース処理ができる。

問２　石油系溶剤に関して、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　引火性で消防法や建築基準法の規制を受ける。
２　衣類乾燥に高温で長時間処理を行うと風合いが損なわれやすい。
３　油脂溶解力が大きく、比重が大きいので衣類にやさしい洗い方ではない。
４　ＫＢ値は大きいほど油溶性の汚れの洗浄力が大きく洗浄時間を短縮できる。
５　チャージシステムではソープ濃度は５～１０％を用いるのが望ましい。

問３　漂白やしみ抜きに関して、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　過炭酸ナトリウムは含金染料で染色したものには、金属と反応して生地を損傷するため使用不可である。
２　水溶性のしみは霧吹きで霧をかけると生地よりもしみのほうが水分を早く吸収する。
３　水溶性の汚れとは汗・果汁・泥などである。
４　油性のシミはモノクロロベンゼン、シンナー、アセトン、酢酸アミルなどをドライソープと混合して用いると効果的である。
５　しみ抜きは油性処理→水溶性処理→酸化漂白処理→酵素処理→還元漂白処理の順で行う。

問４　クリーニングトラブルに関して、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

１　ストレッチ素材は蒸気アイロンを高温かつ加圧を強くすると変形しやすい。
２　衣類についているボタンはどのような洗い方にも耐えられるように作られている。
３　石油系溶剤の残留により発生する化学やけどは、溶剤のにおいがしなければ即日引き渡してもよい。
４　接着剤を用いて布と布を貼り合わせ加工した衣類はドライクリーニングの溶剤で接着剤が溶解し、剥離することがある。
５　洗濯絵表示が海外でつけられた表示と日本の表示の両方がついている場合はすべて日本の表示が優先する。

令和元年度クリーニング師試験問題解答

受験番号		氏名	

１．衛生法規に関する知識　（配点：１００点）

問　1			
1	2	3	4
イ	カ	ク	コ

（５点×４問）

問　2	問　3	問　4	問　5
2	3	3	2
（１０点）	（１０点）	（１０点）	（１０点）

問　6			
1	2	3	4
○	×	×	○

（５点×４問）

問　7	問　8
1	3
（１０点）	（１０点）

得点	／ 100

２．公衆衛生に関する知識　（配点：１００点）

問　1				
1	2	3	4	5
イ	エ	キ	ケ	シ

（４点×５問）

問　2	問　3	問　4
3	2	1
（１０点）	（１０点）	（１０点）

問　5	問　6	問　7	問　8	問　9
2	4	2	3	1
（１０点）	（１０点）	（１０点）	（１０点）	（１０点）

得点	／ 100

３．洗濯物の処理に関する知識　（配点：１００点）

問　1				
A	B	C	D	E
2	3	2	1	1

（５点×５問）

問　2				
1	2	3	4	5
○	○	×	○	×

（５点×５問）

問　3				
1	2	3	4	5
○	○	×	○	×

（５点×５問）

問　4				
1	2	3	4	5
○	×	×	○	○

（５点×５問）

得点	／ 100

総得点	／ 300